

事業名 CD	0109010201	消防団運営事業
細分化した事業名		
事業担当課室 CD	100100	総務課
		整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	誰もが安心して暮らせるまちづくり
	中項目	安全・安心に生活できる地域体制の構築
	小項目	消防・救急体制の充実
関連する個別計画等		根拠条例等
関連する事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	消防団活動の円滑化
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	葦崎市消防団及び団員
これまでの改善経過	S29年11月消防団設置以来、2回の定数削減を行い、現在の808名で活動している。H22年中に消防団活性化検討会を設置し、部の再編等を検討している。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/>) 団長を中心に本団役員が執行部となり、運営している。
事業の成果 (どのような状態にしたのか) (どのような効果を得るのか)	消防団活動の活性化を図る。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	51,075	51,759	46,457
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他	9,904	13,711	6,740
	一般財源	41,171	38,048	39,717
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.4	0.4	0.4
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	2,764	2,929	2,687
D	総事業費(A+C) (千円)	53,839	54,688	49,144
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	1,620 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注 1) 担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注 2) 平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注 3) 一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実 績 値		
			20 年度	21 年度	22 年度
活動指標	消防団員数		808	808	808
	分回数		11	11	11
	部数		52	52	52
成果指標	火災出動人員		894	771	1,029
効率指標	団員1人当たり経費	総事業費/団員数 46,457千円/808人	63,212	64,058	57,496
	出動1回当たり経費	総事業費/出動回数 46,457千円/18回	2,688,157	2,352,681	2,580,944

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 非常備消防の消防団運営が図られた。
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 消防団員の欠員もなく活動できた。
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない ボランティア団体の消防団の運営が図られた。

総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
------	--

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化 (結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
---------	--

改善・改革案	改善・改革の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 ・部の統合 (組織の再編)	(2) 24 年度	(3) 23 年度
	22 年度の改善計画		
22 年度の改善結果			

市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)	
---	--

課長所見	消防環境及び意識の変化等により新入団員が減ったり、部の維持、活動がままならない部も見受けられることから、消防団活性化委員会を通じ、地域の再編や定数等今後の消防活動についての方向性を考える。
------	--